

日経平均の動き

私はこれまで相場の大きな流れを的確にとらえようと、さまざまに日経平均の分析を行ってきました。そして「データによる分析で勝率を上げるため」様々なデータを作成してきました。以下はそのデータを使い、これからの日経平均の動きを私なりに分析しコメントしています。皆様のご参考になれば光栄です。

▶ 来週の日経平均予想

▶ ピーク to ピークから (参照：5月～6月ピーク to ピーク 2023年版)

5月 SQ 値は 29,235.08 円でした。ピーク to ピークでのデータでは「5月 SQ 値は、5月 SQ1 週間前の終値 (29,157.95 円) よりも安くなる」でしたので、今回はデータが外れました。

直近10週間の週単位でのピークtoピークの検証結果						
3月3日	27,927.47(終値)	安くなる	3月10日	28,377.34(SQ値)	×	1.016
3月10日	28,377.34(SQ値)	高くなる	3月17日	27,333.79(終値)	×	0.963
3月17日	27,333.79(終値)	高くなる	3月24日	27,385.25(終値)	○	0.963
3月24日	27,385.25(終値)	高くなる	3月31日	28,041.48(終値)	○	0.963
3月31日	28,041.48(終値)	高くなる	4月7日	27,518.31(終値)	×	0.963
4月7日	27,518.31(終値)	安くなる	4月14日	28,519.43(SQ値)	×	1.036
4月14日	28,519.43(SQ値)	安くなる	4月21日	28,564.37(終値)	×	1.002
4月21日	28,564.37(終値)	高くなる	4月28日	28,856.44(終値)	○	1.010
4月28日	28,856.44(終値)	高くなる	5月2日	29,157.95(終値)	○	1.010
5月2日	29,157.95(終値)	安くなる	5月12日	29,235.08(SQ値)	×	1.003
5月12日	29,235.08(SQ値)	安くなる	5月19日	?		

(独自作成)

次に来週の予想です。

5月 SQ 値と 1 週間後を比較すると、下落したパターンは 28 回中 16 回あります (①)。

次に、5月 SQ 値より当日の終値の方が高いパターンは 16 回あります。そのうち SQ 値より 1 週間後の方が高いというのは 9 回あります。(②)

もう一つ条件。4月 SQ 値より 5月 SQ 値の方が高いパターンは 14 回あります。そのうち SQ 値より 1 週間後の方が安いパターンは 8 回あります (③)

①、②、③より「5月 SQ1 週間後の終値は、5月 SQ 値 (29,235.08 円) よりも安くなる」というのがピーク to ピークでの検証結果です。

▶ 外国人の売買動向 (資料：外国人の売買代金、信用残の推移)

5月第 1 週の外国人は 1602 億円の買い越しでした。これで 6 週連続 (昨年 5 月第 1 週以来) の買い越しとなりました。4月までは累計で売り越していましたが、この 6 週間で年初から買い越しに転じてきました。先日ウォーレンバフェット氏が来日しましたが、それも後押ししているのでしょうか。

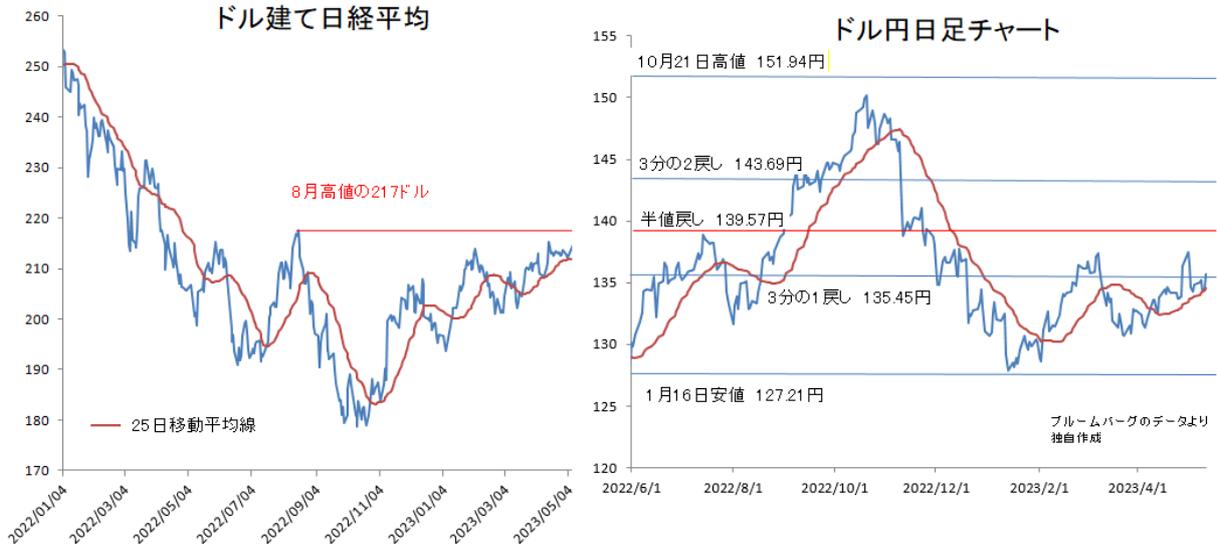
外国人動向の動きが変化したことはドル建て日経平均でも頷けます。円建ても今週上回ってきましたが、同様にドル建て日経平均も昨年 8 月の高値を上回ってきました。

次にドル円相場です。今週は米 CPI の発表で、前年同月比で 4.9%と市場予想の 5.0%を下回りました。マーケットは利上げの警戒感が和らいだと捉え、金利が低下。ただ一時 1 ドル



ニュース証券株式会社

133 円台まで円高になりましたが、週末にボウマン FRB 理事が追加利上げの必要性を発言したこと受け、再度 135 円台で週末を迎えています。

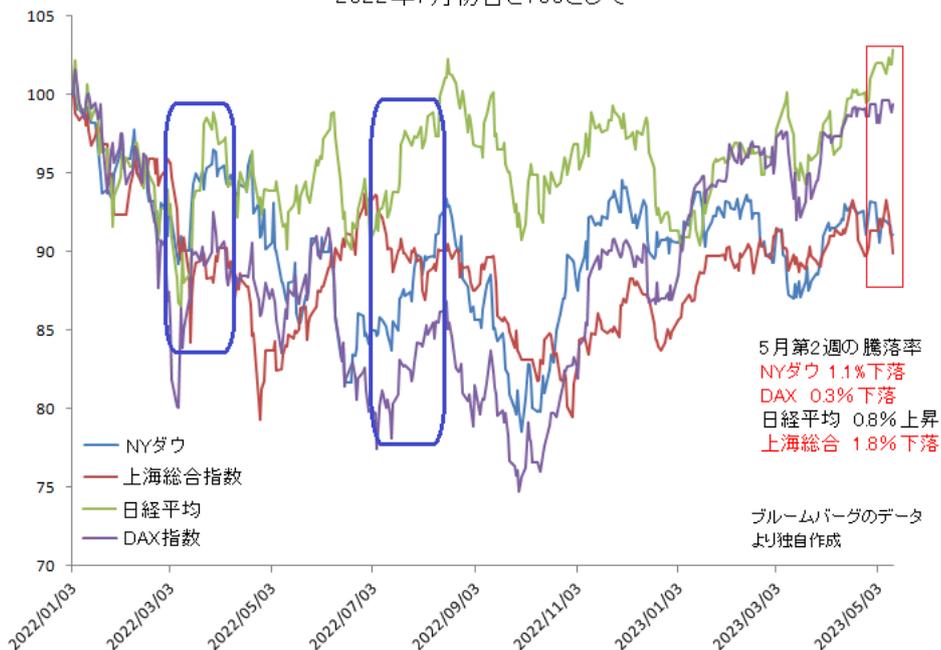


次に世界のマーケットです。東京市場はゴールデンウィーク中を含め今週まで 5 週連続高となる一方、世界のマーケットは少し変化が出ています。まず NY ダウは意外にも 2 週連続安（ナスダック指数が最高値更新する一方）。またドイツ DAX 指数は 5 週間ぶりに下落。そして上海総合指数は 3 週間ぶりに下落しています。しかも同指数は直近の安値を更新する勢い（週間で 1.8%）となりました。

警戒するのは昨年以降、ほかのマーケットが上昇局面にも拘わらず、上海総合指数が下落した場合、少し後からほかのマーケットも下落し始めるということです（青杵）。来週以降上海総合指数の動きには注意しておいた方がいいでしょう。

NYダウ・上海総合・日経平均・ドイツDAX指数の比較チャート

2022年1月初日を100として



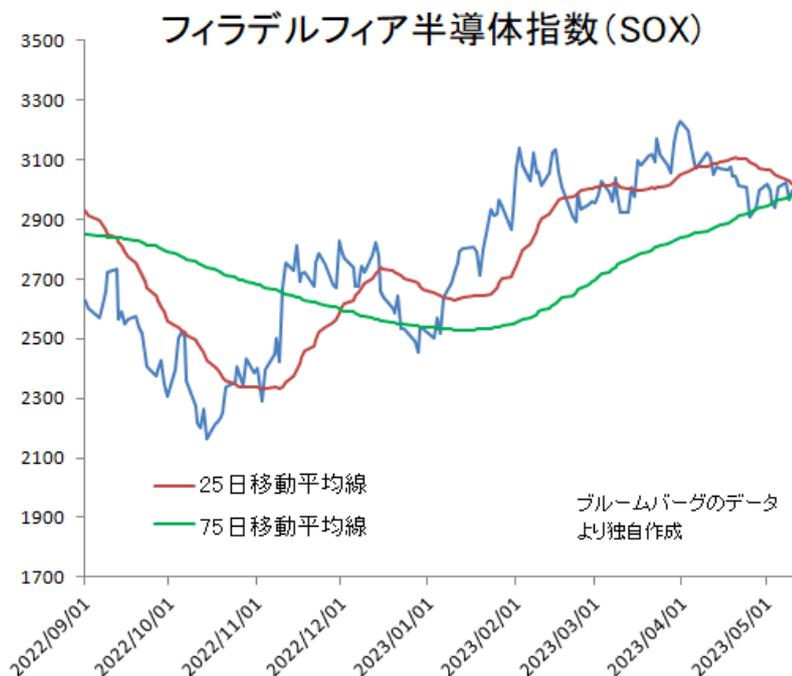
なおフィラデルフィア半導体指数（SOX）もナスダックの上昇をよそに、この 2 週間ほぼ



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 138 号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目 11 番 10 号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

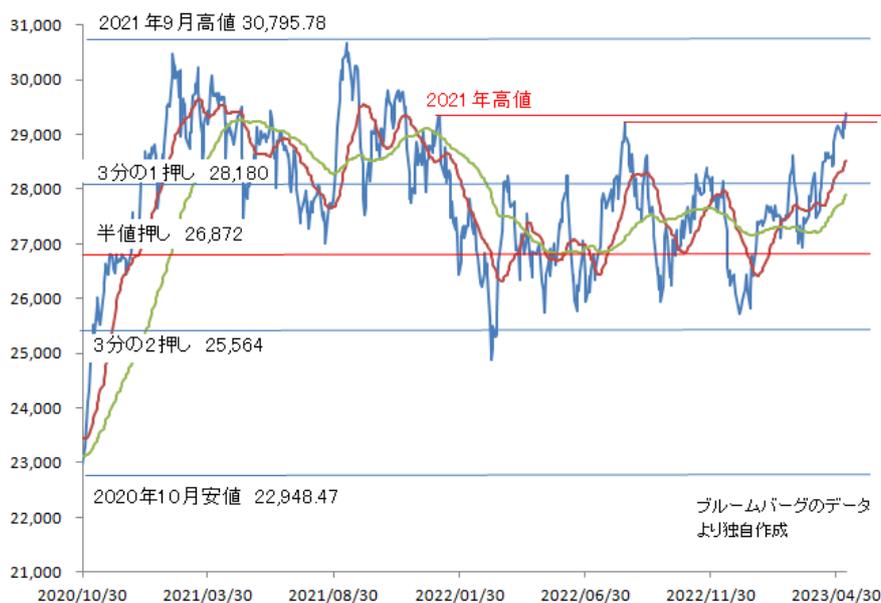
横ばい。この結果 25 日移動平均線と同 75 日線がデッドクロス寸前となっています。来週以降再度下落し、2 週間前の安値を下回るようだったら SOX 指数も下落局面に入ってくる可能性が高いと考えます。



➤ チャート分析

今週の日経平均は 230 円高と 5 週連続高となりました。これで昨年 8 月 17 日の高値 29,222 円を 9 か月ぶりに更新し、偶然にも昨年 1 月の高値 29,388 円台で引けました。実に 1 年 4 か月ぶりの水準です。なお週末のシカゴ CME 先物が上昇していますので、週明けはさらに上昇してスタートしそうです。このように日経平均は力強い動きになっていますが、“好事魔多し” と言います。上記したように世界のマーケットは少しずつ変化しています。

日経平均日足チャート



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会

昨年以降米国では CPI の発表が相場を左右する大きな要因の一つでしたが、現状では「債務上限問題」がどうなるのか？が大きな要因になってきました。方丈記の「ゆく河の～」で始まる冒頭部分はないですが、マーケットも同じ要因でいつまでも動くとはなく、常に新たな材料は出てきます。そしてそれ（新たな材料）によってまた右往左往する「世の中にある人と栖（すみか）と、又かくのごとし」ということでしょう。今週はその外部要因にも目を向けて行動していきます。

- この資料の作成にあたっては細心の注意をしておりますが、作業上データに誤りが発生する可能性があり、正確性を保証するものではありません。またここでの内容は現時点での判断を示しているにすぎません。また予告なく見方を変更することもあります。
- この資料は情報提供のみを目的に作成したもので、投資勧誘を目的としたものではありません。したがって投資の最終決定はご自身でなさるようお願いいたします。

N e w s 20230515-1



ニュース証券株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第138号
〒150-0011 東京都渋谷区東三丁目11番10号 恵比寿ビル
加入協会: 日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問協会